

学校適正配置指針・計画の見直しに係る八條北小学校保護者説明会

日時：令和6年12月4日（水）19：00～20：40

場所：八條北小学校体育館

参加者：10名

質問：質問に関わる前提のところの質問になるが、教育委員会が一番大切にしている利益、物事の意味決定をしていく際に、誰のことを思って意思決定していくのか、その利益の享受者は誰が一番なのかというところをまず教えていただきたい。

回答：もちろん子どもたちである。

質問：我々も子どもが将来活躍できる人として育てていく責任を持った立場なので、教育委員会が子どもを第一に考えていただいているのと同時に、我々親も子どものことを第一に考えている。そこは共通する部分だと思っている。その利益の一番の対象になる子どもにとって説明があった複式学級や統合というものは率直にプラスとなるのかマイナスとなるのか、どのように考えているのか。

回答：複式学級については、既に令和2年3月に策定した学校適正配置指針・計画でも記載しており、この時点でも八條北小学校に入学する児童数が少ないという状況があった。その時に色々な議論があり、この先まず小規模特認校を進めていこうということで今に至っている経緯がある。ただ、その中で複式学級が見えてきたときには検討を開始するとなっているため、検討を開始するところに至っている。複式学級が良いかどうかという部分については資料でメリット、デメリットを示しているが、子どもにとってはデメリットの方が多いと考えている。統合については色々な議論がある。町会自治会の話しを聞いているところだと、少人数は可哀そうだという考えをもっている方もいる。また、必ずしも統合でなくてもという意見もある。そこは皆様に意見を聞いている段階である。

質問：複式学級を取り入れる児童数になった場合に検討するということだが、ルールとしてしなければならないと決まっているのか、検討の土俵に乗るだけで取り入れるか否かは各市町村の判断によるのか。その場合、八潮市としてはどのようなスタンスでいるのか。

回答：2つ以上の学年を合わせて16名以下となる場合に複式学級にならざるを得ないというのが正しい表現である。これは、教員は県の職員であることが理由としてある。県から人数が割り当てられて配置され学校は成り立っている。複式学級の条件を満たしてしまう状況になると先生が配置されない。先生が来ないとなるとそれでやるしかないという状況になるため、複式学級はそうせざるを得ないというのが回答になる。

質問：町会の方の意見も聞きながら検討を進めているという話があった。冒頭に誰が一番の利益の享受者かという回答に「子ども」とあったが、そうすると、第一当事者である子ども、その子どもを学校に預けている保護者の声が一番に優先されるものだと思う。その声を聞くよりも先に町会に意見を聞きに回っているというのは順番が違うように思う。その辺りはどのように考えているのか

回答：説明をするに当たっては、全体に対して一度に説明をすることはできないため、どちらかが先というのはどうしても出てくる。保護者の声もすごく大事だと思っている。だからこそ保護者に向けて10月5日に説明会を開催した。町会自治会は長年その地域に住んでおり、地域の中でシンボリックな存在でもあるということで、町会自治会、保護者の方に話を聞いている。関係する町会自治会が全て終わってから保護者に説明したわけではなく、10月5日以降に説明を行っているところもある。どちらが上とか下とかはない。決して保護者の方が下とかそういうことではない。

意見：理解した。ただ10月5日の説明会の案内が大事な話だということが伝わる形で案内されていないと多くの保護者が受け止めている。その説明会をもって説明しました。聞きました。というのは不誠実だと思う。

質問：前回も同じようなことを聞いた。ここの学校が通いにくい場所であることが変わりはなく、子どもの数も減っていくのはどのあり方でも同じなので、スクールバスとまでは言わなくとも、コミュニティバスのルートを増やし、バスを活用して登下校するようにしても良いのではないか。子どもたちもバスには乗れると思う。私立の子は八潮駅から何回も乗り換えてバスを乗り継いで一人で通っている。八條北小学校だけ保護者が車で連れて行かなければならない。こういった状況だと行きたいという人は増えないじゃないかなと思う。登下校の形を1つ増やしてもらうのは、統合するにしてみないにしても、この小規模特認校制度を続けるのであれば必要なことだと思う。

回答：コミュニティバスについては、八潮駅からこちらの近くまで来るようになっていて、その可能性はゼロではないと思う。運行を決めているのは教育委員会ではないので、この場で約束はできない。役所の中の部分の話なので他部署に確認する。ただ、バス会社も人手不足もあり運行が非常に厳しいという状況で、少しでもお客様が乗ってくれるためにはどうするかというのを血眼になってやっている状況である。これが毎日乗ってくれる方がいるとなれば変わることもあると思う。学校の送迎が大変でそういう形だと人は増えないというお話については、先ほど小規模特認校制度が始まった経緯を説明したが、色々選択肢がある中で、まずは小規模特認校を進めていこうということで開始した。ただ、どうしてもスクールバスを出すことができないので、そこは保護者の方の送迎が条件でやっていくというのがスタートなので、そこは今も変わりはないというところである。

コミュニティバスを活用して児童が学校に来ることの是非の話は、今は実現していないが、必ずしも路線バスに乗ってはいけないということではないので、時間がうまいこと八條北小学校のすぐ近くで止められるようなことがあった時に、バスに乗れるかどうか、検討の余地はある。

質問：バスに乗る子どもたちの登校班を作って、例えば八潮駅で待ち合わせて6年生なりが2年生や3年生と一緒に連れてバスに乗って行くみたいな形や、保護者が持ち回りで誰か1人が引率して連れていけば、バスの登校班もできるのではないか。

私は車で連れて行っているが今でも交通量が凄く多い。今後工事が始まるとどうなるのか不安がある。それがバスだったら渋滞で自分自身が帰って来られなくなる心配がなくなるので、具体的に検討をしてほしいというか対応してほしい。今でも八条橋に向かう交通量が多く帰って来られなかったりする。私の知り合いとかでも八條北小学校に行きたいという保護者は結構いるが、あそこまで車で行くのがしんどいということで二の足を踏む人を何人も見ている。

せっかくバスがあって乗っている人も少ないわけなので、八條北小学校の子どもだけお金をちょっと払うなりして、無料で連れて行ってほしいとは思っていないので、高めの定期券なりでお金を払って連れて行ってもらえたらありがたいと思う。八潮駅の周辺はどんどん転入者が増えてきて子どもも増えてきて小学校もパンク状態で、みんな必死に小学校受験をしている。私はこの学校も良いと思うので、ここが受け皿になれば良いが結局みんな働いていたりするため来るのがとにかく物理的にしんどい。私がさっき言ったように八潮駅に一旦子どもたちを集めてバスで行くルートがあるのが一番良いのではないかと思う。統合という話も人が増えればなくなる。課題というよりかは対応に入って欲しいなという風にずっと思っている。

回答：コミュニティバスの件について、心配している点としては必ずしも八潮駅で乗るのかどうかという点や途中から乗車する児童もいるかもしれない。乗るときは保護者と一緒でも下校時はどうなるのか。またバスも下校時は1便では足りないため、2便或いは3便と必要になるので、そこはスクールバスのような動きをしなければいけないのではないのかなと思う。我々もスクールバスに関して、実際に市内の例えば5箇所ぐらいから回ろうとしたらどうなのかと考えた時にかなり厳しい条件がある。スクールバスを何台も用意するのは難しいと思うので、1台で考えると古新田の方に住む児童がいるとすると、午前6時台から送迎が始まる。そうすると1時間以上乗っている児童が出てくる状況になる。先生が同乗しているわけではないのでトイレの問題や、体調が悪くなった際にどうするのか等の課題はある。ただこれはあくまでも我々が可能な範囲で想定しているものであり、だからダメだというわけではない。まったく考えていないということではなく、そういった部分も含めて考えているところはある。結論としては、だから何ができるということを申し上げることはできないが先程あったコ

コミュニティバスについては役所の中の部分になるので相談したいと思う。

質問：資料に小学校から教科担任制の導入と記載があるが、これは具体的にどのような話なのか。

回答：これは八條北小学校だけではなく基本的に小学校でもなるべく高学年に関しては、専門的な免許を持っていたり知識がある先生が1学年まとめて見たりとかそういうような人員配置をしていきたいと思いますという流れになっている話しである。

質問：中高の免許は、例えば数学科を出ているから数学の先生と決まっている。小学校は違うと思うがどのように選んでいるのか。

回答：中学校・高校の免許で例えば数学の免許を持っていて、小学校の免許も持っている先生がいればそういう方が最優先になる。家庭科の中学校の免許があつて小学校の免許も持っている方や音楽もそうだが、そういう上位の免許を持っている方がその学校にいればそういうのができるチャンスがある。そういう形になる。

質問：前回の説明会の後に不安になったことがある。近所の保護者に話しを伺うとやっぱり統合も複式も嫌で反対という意見が多い。説明会の時にはしっかりと反対ということは言っていない。質問はあるかと伺っていたので質問とかしかなかったと思う。今回この回を受けて統合に向けて進んでしまったら嫌だなっているのがあつた。実際に策定委員会というので統合という話が進んでいるのか。

回答：策定委員会の中では適正配置指針・計画の見直しのことを議論している。統合ありきで議論しているわけではない。北部地域については推計の結果児童生徒数が減少していくこととなっているため、そこをどうするかという段階である。

質問：複式学級になる可能性について、先生の配置は県の教育委員会が権限を持っているということだが、例えば、来年度、再来年度で急に児童が3名転校するとなつたら、ある日突然複式学級になるのか。それはあまりに横暴だと思う。その意見を伝えるのは、市ではなく県の教育委員会なのか。

回答：年度途中で引っ越してしまつて複式学級の状態になるという事はもともとそれぞれの学年に教員が配置されている状況だと思う。その場合は基本的にはその先生を残してくださいという要望を県に出す。ただそれがだめだった場合は、市で会計年度任用職員を採用し教員採用試験には受かつていないが教員免許を有している人にお手伝いをさせていただくという流れになる。

質問：年度の途中での変更はないということだが、複式学級にしたいと思っている1年前とか2年前に急に複式学級になるというのが決定事項として保護者に伝わるのか。

回答：教員の配置は年度の最後の方に決まる。その段階での児童数で翌年度の配置が決まる。

配置の段階で児童数が基準を下回っていることになれば、決定事項として伝わる可能性はある。

質問：前回の説明会のときに複式学級にしなければならないという国の文書等はなく、複式学級もあり得るみたいなニュアンスの文書で決められているっていうのを伺った記憶がある。

回答：県費の教員は配置されないのでも市で採用している会計年度職員をその学校に配置して、複式学級にしないでそれぞれの学年で授業を行うということもある。ただ県から配置されていなくて、採用試験に受かっていない方の配置になる。授業の知識や指導力というところがもしかしたら落ちる可能性が出てきてしまう。

意見：統合も複式も現在は検討段階で決定には進んでいないという解釈で良いか。できれば子どもがいる間は学校を無くしてほしくないという保護者の意見が多い。それでも統合や複式に学校が変わってってしまうのであれば署名などを集めていかなきゃいけないという話まで出ていてとにかく不安な状態である、これはどの保護者も同じだと思うので是非その辺も加味して検討していただきたい。

質問：小規模特認校制度の導入目的を改めて伺う。

回答：大きく2つある。1つ目は特色を持った学校教育をすること、2つ目は小規模特認校と言う通り小さな学校でよりきめ細かな指導をしていきたいという目的で小規模特認校を申請した。

質問：令和2年度の指針を見ると、当時も八條北の児童数の減少は問題となっている。特色ある教育を取り入れて他の学区から子どもを招き入れて児童数の増加を促進するというのも目的の1つとして理解してよろしいか。特色ある教育と児童数を増やすという2つの軸がある。この2つは現状どういう評価をしているのか教えていただきたい。

回答：特色に関しては英語教育の部分で相当な特色が出ていて評価していただいている。児童の増加については想定より少ないかなという印象はある。既に来年度の特認校制度の児童の募集も行っているので引き続き取り組んでいきたい。

質問：想定していた人数より少ないというのは、内部的に目標としていた数字があるのかなと思うのだが、どのくらいの人数を想定していたのか。

回答：明確な目標値は設定していない。

質問：導入前後の児童数が記載されており、児童数は増えていないとあるが、書き方次第で変わると思う。導入後12名入学している。他の資料で見たが、現在9名が在籍中で計76名。令和2年度の導入前が75名なので、現状1名増えている。12名の入学がなければもっと減少していたと思う。ここの表現を、「制度導入後12名が特認校制度で入学又は転校、現在9名が在籍中、大幅な増加には至っていないが、導入前の令和2年度に比べると1名増で下げ止まりには至った。大幅増に持っていけない要因について分析し成功に向けた取り組みを検討中である」というような表現をすると受け取り方が違うと思う。下げ止まったということは評価の対象になっているのかなっていないのか、というところを教えてください。

回答：現在は9名という数字で、当時作った適正配置計画の中で児童数を増やしていこうという目標と照らし合わせると少ないかなという印象があります。この数でいくといずれ複式学級になる人数が見えてきているので、厳しいと考えている。

質問：目的の1つとしての児童数を増やすという面においてどのような取り組みをしてきたのか。

周知活動として保護者、保育園、幼稚園、広報、ホームページとあるが、それ以外にあれば教えてほしい。

回答：今おっしゃられたものがすべてである。

質問：そうすると現状を評価して振り返って次のアクションというのを考えるというのが、目標に掲げた増やすということに対しての取り組みだと思うが、年度ごとの振り返りを経てここは改善してきた、というプロセスを教えてください。

回答：幼稚園、保育園への周知は最初からではないと思うので、そこは改善している。

チラシに関しても見やすいものになるよう心掛けている。

意見：第1回学校適正配置指針・計画策定委員会の意見質問に対する回答の中で、増やすための取り組みはありませんと記載があった。今日ご説明いただいたが、熱量としては足りていないと思う。特認校の認知度が足りていないのであれば認知度調査をされたのか。そこで足りていないという実績が分かるので改善してほしいと思う。実際こちらの学校に通わせていただいて、うちの子どもは八條北小が良かったと大絶賛していて、元の学校に戻る、違う学校に行くと言ったら、嫌だと言って泣いた。それぐらいこの環境というのは素晴らしい。2つの目標である特色あるというところを実現していただいている。小規模校のメリット、デメリットを説明

していただいたが、ボリュームだけ見るとデメリットが多くあるが、メリットの質はおそらくここで表現できない規模とものがあるというのが子どもや親の受け止めなので、そこはしっかりと受け止めていただきたい。

特認校制度で通うにあたって、校長先生と面談をし、途中で投げ出してくれるなと、最後卒業するまでちゃんと通い切ってくださいと、通学で送迎が大変かもしれないけどやり切ってくれと念を押された、つまり覚悟を問われたと思っている。他にも小規模特認校を使っている方いらっしゃって聞いてみたら、同じような問いを受けたと言っている。親に対して覚悟を問われたということは、覚悟を問うた側の覚悟も求められる。そのため卒業するまで通い切ってくださいと求めたのであれば、特認校制度で通っている児童が卒業できるまでこの制度、この学校を維持する、ちゃんと卒業させる覚悟というのは教育を与える側の覚悟であり責任だと思う。

意見：メリットデメリットの書き方について、あくまでこの統合とかっていうのは検討中っていうことだったと思うが、この資料を見る限りどう見てもこのデメリットしか書いてないと私は思う。北小の良さを教育委員会の方たちは何もわかってきてないのかなと思う。メリットたった6個しか思っていない方々が検討しているというのがちょっと悲しい。もっとこの八條北小学校の良さを分かった上でこの数値を見て検討していただかないと、もう北小だめだと言っているように感じる。これを見て小規模特認校に行きたいと思う人いないと思う。チラシ云々とかじゃなくて資料を見てこれだけデメリットがある学校に行きたいと思う人いないと思う。この思いだったり、この資料の作り方っていうのをもうちょっとその誠意を持って北小を愛している方に検討していただきたいと思います。

意見：ここに書いてあるボリュームでは表せない質的な良さがある。うちはここまで朝往復50分、夜往復50分、年間330時間、ガソリン代も上がっていて、やっぱり大変だけど通わせる価値があるから通わせている。これは通わせている人でないとわからないことだと思う。さっきお知り合いでここに通わせたいのだけれども、通学がネックで通わせられないっていう親がたくさんいるという話があった。特色のある教育を行って、実際通った子たちや親がこの学校いいって思っている。そうすると2つの目標のうち的人数増やすが揃えば大成功な学校になると思う。成功は努力して作りに行くものだと思う。今日、教育委員会の皆様方がこれまでやってきたことに対して足りないのではないかとちょっと生意気なことを言ったかもしれませんが、そこをやっぱりこの良い学校を残してここ発展させていきたいという思いは我々親も持っていることなので、お互い利益が一致するのであれば、そこはスクールバスが難しいのであれば、違うやり方でこの学校に通わせるメリット、不安払拭というところをこの学校通わせたいと思っている保護者に届けるような広報活動を考えるべき。例えば、実際通わせている我々親と入学を考えている親とをマッチングした対話会をやるとか、お互いが歩み寄ってできるようなことはま

だまだあると思っていて、そういった努力とかもしてそれでも増えていかないというときには、諦めもつくかもしれないが、現段階の不完全燃焼のまま数字上厳しいので、この学校統廃合です。複式学級です。というのは残念なので、お互い汗かける部分があるのであれば、そこは一緒にやれたらいいなというふうに思っているの、今日こうして機会を持たせていただいたのは1つのご縁だと思うので、これからも一緒にやれる部分を探しながらやっていきたいと思う。

最後にバスの部分について、5箇所回るのが難しいとあったが、親からすると学校までの送迎が大変なので、それが八潮駅までになるだけで全然違う。5箇所でなくても良い、八潮駅と市役所の2箇所にして近くまでの送迎にしてくれると今よりも楽になる。発想を広げてほしい。親だからわかることだと思うので、ぜひこれからも対話の機会を持ちながらやらせていただければと思う。